

農協と組合員をつなぐ広報誌

なかしゅんべつ



3月16日(金)中春別小学校にて、卒業証書授与式が執り行われました。

17人の卒業生が、中学校生活に期待を寄せて、思いで詰まる校舎を巣立って行きました。



4月号

2018 Vol. 483

最新式のミルクングパーラー、 フリーストール牛舎を視察

青年部研修部会（相澤孝太郎会長）では3月12日（月）に視察研修が開催され、中春別地区の（株）リジッドファームズへの視察に行きました。

リジッドファームズは、家族に加えて従業員やアルバイトの方、研修生を受け入れており、日々の作業に取り組んでいます。作業外では、スタッフと家族と一緒に食事も行っており、和気あいあいとした雰囲気笑顔が絶えないアットホームさが売りとなっております。

今回は、代表の森田哲司さんの案内のもと、イタリATDM社のミルクングパーラーやフリーストール牛舎を視察させていただきました。

ミルクングパーラーは固形式で1回に32頭の搾乳ができます。中でも、搾乳をすることに、ティートカップを冷水によるバックフラッシュ洗浄しており、衛生面への配慮を徹底しております。

フリーストール牛舎では、

空調への配慮に気をかけていることが印象的でした。サイクロンの設置により、常に新鮮な空気を牛舎内に取り入れることで、牛が過ごしやすい環境作りをしております。

また、afimilkの牛群管理システム「アフィファーム」を活用しており、これは牛の足首に装着したタグ型のセンサーにより、牛の活動量などを計測して分析し、発情や繁殖管理といった、個体の飼養管理を行うことができます。これらの情報は、アプリとしてPCやスマートフォンなどの端末での情報管理ができることから、牛舎外にいる場合でも、常に牛の情報を知ることができ、効率的な経営が図れているそうです。

視察後は参加者で昼食をとり、仕事やプライベートな

地区内
視察研修会

話をして、
親睦を深め
ました。参加された皆様お
疲れ様でした。



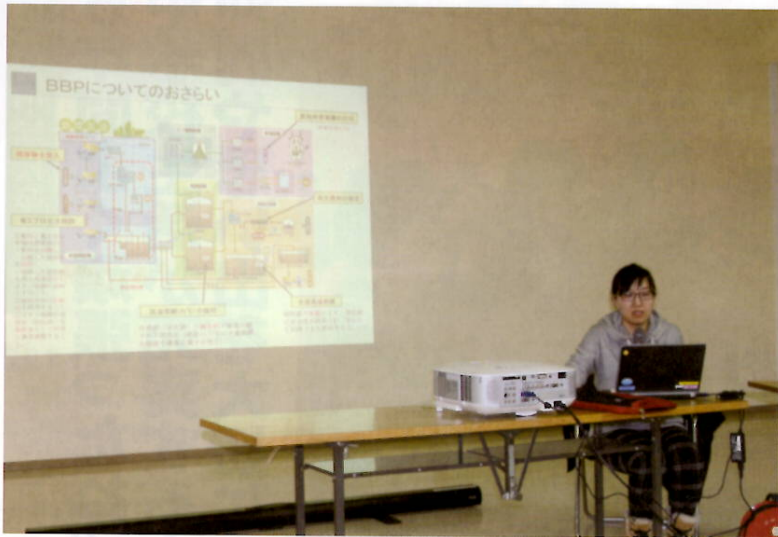
最新式のミルクングパーラーを視察



サイクロンにより新鮮な空気を取り入れる

貴重な試験結果や意見交換を 活かして、今後の営農へ

(株)別海バイオガス発電の小菅加奈子氏を招き、消化液についての勉強会を3月5日(月)団地センタートレーニング室にて開催しました。



最初に別海バイオガス発電(株)についての概要や稼働状況について説明をいただき、その後、消化液に関わる、スラリーと消化液の比較試験の結果や消化液の成分、牧草への液肥の付着量とスラリーと比較した大腸菌数、臭気の差などについての説明をしていただきました。

また、消化液は雑草の種子が100%死滅している堆肥・スラリーに比べて雑草の増殖



勉強会内容に真剣に耳を傾ける参加者のみなさん

が少ないため今後に期待が高まります。消化液についての説明を終えた後は、意見交換会も行い、部員がそれぞれ感じている事を質問したりと有意義な勉強会となりました。

別海バイオガスとの勉強会

次年度に向けて、意識高まる慰労会に

青年部 慰労会

3月19日(月)部員内慰労会を中標津町しゃぶしゃぶ「えん」にて青年部員20人参加のもと開催いたしました。



開会にあたり小西副部長より乾杯の挨拶をいただき、慰労会が始まりました。乾杯と共に食事を楽しみながら、部員それぞれが一年間を通しての青年部活動に対する反省や次年度に向けた意気込み、プライベートな話に華を咲かせ、最終始賑やかな雰囲気にも包まれ、会話を楽しみました。最後に山田副部長から挨拶をいただき、一本締めで慰労会の幕を閉じました。



乾杯の挨拶を述べる小西副部長

ステージへ飛翔

中春別小学校卒業式

**6年間よく頑張ったね。
中学校生活が充実するように
仲間や思い出を大切に**



3月16日(金)、中春別小学校にて卒業証書授与式が執り行われました。

卒業生は男子8人、女子9人、計17人。校長先生から一人ずつ卒業証書を受け取り、それぞれお父さん、お母さんに感謝の言葉と今後の抱負と共に卒業証書を手渡し、我が子の成長した姿を前に、目に涙を浮かべる父兄の姿が見受けられました。

お別れのことばでは、在校生から行事や6年生との楽しかった思い出などを振り返り、最後のお別れをし、卒業生からは、学校生活での思い出、お世話になった方々への感謝の気持ちを伝え、一人ずつ「将来の夢」を語りました。

式の最後には卒業生と在校生が向かい合い、在校生



卒業生入場



校長先生より卒業証書が手渡されます



卒業証書をお母さんへ

から「大切なもの」、卒業生から「さくら」を合唱しました。
卒業生にとってたくさんのお思い出が詰まった校舎。そのお別れに涙をこらえながらも、これからの中学校生活に期待を寄せて、6年間過ごした中春別小学校を巣立って行きました。



卒業生へ「大切なもの」を合唱する在校生

中春別中学校卒業式

最後の思い出を胸に 23人の卒業生が巣立つ



3月13日(火)、23人の生徒が中春別中学校を卒業されました。

少し緊張した様子の卒業生が入場、我が子を優しいまなざしで見守るお父さん、お母さん。一人ひとり名前を呼ばれると、「ハイ」と大きな声で返事をし、校長先生から卒業証書を受け取



卒業生一人ひとりに校長先生から卒業証書が手渡されました



校長先生から卒業生へお祝いの言葉

り、握手を交わしました。ステージに上がった卒業生はきらきらと輝いていました。在校生送辞では思い出や部活動でお世話になった感謝の気持ちを伝え、3年生から学んだことを活かしていきたいとお別れをし、卒業生答辞ではお世話になった先生、友人、在校生、両親に感謝の気持ちとこれからの目標を熱く語りました。式歌斉唱では在校生から感謝の気持ちを込め「絆」が送られ、卒業生は涙をこら

えながら「ふるさと」を両親、先生、在校生に向け歌い、体育館中に響かせました。式が終わり教室に戻り最後の学活がスタートしました。生徒一人ひとりが教壇に立ち、3年間楽しかったこと、苦しかったこと、学んだことなどをたくさん思い出を語り、友人たちに最後のお別れと担任の先生に「お世話になりました」と涙を堪え感謝の気持ちを伝え、学び舎を後にしました。

3年間お世話になった先生方へ感謝を込めて花束を贈りました



勉強会、部員間の交流などで 自己スキルアップ

中春別農協
女性部通常総会

第44回中春別農協女性部通常総会が3月14日(水)に農業者団地センタートレーニング室にて開かれました。

開会にあたり齋藤部長より挨拶があり、続いて来賓の中春別農業協同組合小湊



開会の挨拶を述べる齋藤部長

て、議案第2号「平成30年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について」、議案第3号「平成30年度会費の賦課並びに徴収方法について」、議案第4号「役員改選について」が可決承認されました。

30年度行事も引き続き自己スキルアップのため各種勉強会・講習会、部員間で

代表理事組合長、中春別酪農対策協議会伊藤会長より挨拶をいただきました。議長には豊原地区の遠藤美奈子さんと上田弥生さんが指名され、議事に入りました。議案第1号「平成29年度事業報告並びに収支決算について」



の交流の場の提供をしていきたいと考えております。新役員は次のとおりです。

- | | |
|-----|-------|
| 部長 | 齋藤 道子 |
| 副部長 | 南澤 順子 |
| 理事 | 西原 珠美 |
| 理事 | 望月 千恵 |
| 理事 | 原内 友子 |
| 理事 | 山本まり子 |
| 監事 | 木原 幸恵 |
| 監事 | 久保 朋子 |



新役員の紹介



女性部では加入者を募集しています！

女性部では加入者を随時募集しています。同じ中春別に住む仲間として、交流や意見交換をできる仲間を女性部を通して見つけていただければと思っております。お花に興味がある方は園芸グループ、お菓子作り、エコクラブ作りなどをしてみたいという方には趣味の会、現役を引退し、仲間たちとゆつくり過ごしたいという方には木の実部会、小さなお子様連れでも気軽に参加していただけるフレッシュミセス部会があります。同じ趣味や年代の仲間たちと一緒に活動してみませんか？女性部での活動を通して、新しい趣味を見つけたという方もいらっしゃいます！自分一人ではなかなか手をつけられない活動でも仲間と一緒に気軽に始められますよ！他にも女性部では1年を通して様々な活動を行っています。宿泊研修やフラワーアレンジメントなど、楽しい催しもたくさんあるので興味のある方は農協女性部事務局(電話76-2241番)までご連絡ください。

J A根室地区女性協議会第62回通常総会

各農協から女性部代議員が集い、事業計画が満場一致で承認されました

J A根室地区女性協議会の第62回通常総会が3月26日(月)に根室農業会館で開催され、各農協から女性部代議員ら関係者が出席しました。

総会では議案第1号「平成29年度活動報告並びに収支決算の承認

について」、議案第2号

「平成30年度活動計画

(案)並びに収支予算

(案)の設定

について」、議案第3号

「平成30年度会費の賦課徴収方法

(案)の決定

について」、議案第4号

「役員の改選について」が満場一致にて



可決承認されました。また、役員改選は次の通りです。

会長

長谷川希美

副会長

齋藤 道子

監事

伊東 邦子

「

J A中標津

「

J A道東あさひ

「

吉田 和子

「

J A標津



「家の光」を活用しての活動国内視察研修参加報告

J A中春別女性部南澤副部長

総会終了後はJ A根室地区女性協議会幹部部員研修会が開催され、「平成29年度J A北海道女性協議会国内視察研修参加報告」をJ A中春別女性部の南澤副部長より報告していただきました。

J A北海道女性協議会国内視察研修参加報告では、「J Aにじ、J Aさが直売所、J A菊地、J A熊本に行ってきました。今回の研

修を通して、家の光を活用しての活動が多い。女性の意見を取り入れて、施設が出来たり、福祉活動に力を入れていく。J Aが地域の真ん中にありたいという思いから、お祭りやイベントを開催するなど、J Aや女性が勉強する良い機会となりました」と説明・感想をいただきました。

質疑応答では、活動や九州の特産物、食べ物など幅広く質問が上がり終始活発な報告会となりました。



新たな発見を今後の経営に いかしていききたい

佐々木 淳司

私たち第10期生は、3月5日(月)から7日(水)にかけて道央方面に視察研修に行ってきました。

1日目 MSK農業機械株式会社を視察

1日目は、恵庭市にある「MSK農業機械株式会社」を訪問しました。こちらでは、マツセイ・ファীগソンをはじめとする外国産のトラクターや牧草関連機械を販売しています。機械は船で輸送されるのですが、工場では搬入されたトラクターなどを国内産用に整備し直し、組立作業を拝見させていただきました。普段は操



MSK農業機械㈱を訪問。担当者から説明と組立作業を見学

作する側なので、なかなかお目にかかれないことばかりです。餌押し、糞尿処理、発情感知、乳質管理なども機械によって自動で行われていました。牛舎内には、牛にストレスがかからないような設備が施してあり、驚かされることばかりでした。また、バイオガスプランとも隣接して



雪印種苗株式会社北海道研究農場でスライドで説明を受けました

2日目

(株)kalm角山と雪印種苗(株)北海道研究農場を視察

2日目は、江別市にある「株式会社kalm角山」と夕張郡長沼町にある「雪印種苗株式会社北海道研究農場」を訪問しました。

株式会社kalm角山では、日本初となる8台の自動搾乳システムで毎日500頭近くの牛を搾乳しています。餌押し、糞尿処理、発情感知、乳質管理なども機械によって自動で行われていました。牛舎内には、牛にストレスがかからないような設備が施してあり、驚かされることばかりでした。また、バイオガスプランとも隣接して

りで新鮮であり、作業をする方たちの優れた技術による整備のおかげで、私たちは安心して機械を扱えるのだと改めて実感しました。

て、1日に約42トンもの糞尿処理をしており、それらを発電・売電し代替エネルギーとして活用していました。

次に伺った雪印種苗株式会社北海道研究農場では、昨年6月に完成した新研究棟で、草地更新に伴う対策とその方法、サイレージ添加資材の特性など、スライドを交えて説明していただきました。こちらでは牧草・飼料作物の開発だけではなく、野菜や鉢用・ガーデン用の花といった園芸作物の品種開発もされていると伺って意外な一面を知ることができました。

2日間にわたり普段では経験できない貴重な時間を過ごさせて頂きました。実際に現地を視察させていただいて、新たな発見をし、更なる挑戦をしてみたいと思うようになりました。まだまだ未熟者の私たちが、今回の研修で学んだことを少しでも自らの経営に活かしていきたいと思いに精進していきたいと思います。



(株)kalm角山で日本初の8台の自動搾乳システムを見学

根室農業改良普及センター
営農対策情報

春先の草地を確認してみましょう!

長い冬が終わり、緑の萌ゆる春が近づいて来ました。これから早春施肥や牧草収穫作業などの草地管理が始まりますが、本格的な作業の前に、もう一度草地のチェックをしてみませんか？

○今年の気象と土壌の状態

〔根室管内の積雪と土壌凍結〕

今年例年と比べて積雪が少ない冬でした。根室市では平年並みの土壌凍結深だったものの、別海町や中標津町、標津町では土壌凍結が深く入っています。

表1 根室管内の土壌凍結深 (普及センター調べ)

	凍結深 (平年最大)	凍結深 (今年度最大)
別海町	-32.0	-45.1
根室市	-31.6	-32.0
中標津町武佐	-16.9	-25.7
中標津町俵橋	-27.8	-42.7
中標津町豊岡	-32.9	-47.5
中標津町当幌	-32.9	-56.0
計根別上標津	-29.0	-41.5
標津町古多糠	-11.2	-18.5

○冬枯れ草地への対策を

〔「冬枯れ」とは〕

越冬により、牧草が衰弱もしくは枯死することを冬枯れと言います。冬枯れが発生すると、その年の収量が低下したり、草勢が悪化してしまいます。

冬枯れが起きる要因

①凍害

根雪が遅く牧草が長期間寒風に曝されたり、積雪が少なく、土壌凍結が深い年に発生します。

②凍上害

越冬個体が小さく、根張りが不十分な条件で土壌が凍結すると、牧草の根が浮き上がり、直根が切断されて枯死してしまうことで発生します。

③雪腐病

原因となる病原菌が茎葉内で発生します。積雪量や土壌凍結深、ほ場排水など他の要因と重なり合い、被害が大きくなっていきます。

④アイスシート害

冬期間の降雨や、雪解け水が草地のくぼみや排水の悪い場所で凍り、牧草が長期間封じ込められる場合に発生します。

今年度は、平成29年12月末に雨が降り、これにより、アイスシート害が特に多く発生しています。



写真1 アイスシートに覆われた牧草

〔アイスシート害を見つけた場合〕

草地を歩きながら目視で状況を確認しましょう。ほ場内の滞水を発見した場合、作業機械が入れるようであれば、溝切りや窪地中央に穴を開けるなどの排水対策をしましょう。

冬枯れを発見した場合、春の施肥時期に追播を行い、植生の維持、一番草の収量を確保しましょう。ハーバーマットやシ

ードマチックなどの簡易は種機を使い、部分的な裸地には種を行いましょ。この時の施肥は、ほ場全体に例年通りの量を施肥します。裸地が三割を超えている場合は施肥による改善が困難なため、簡易更新または完全更新を行います。

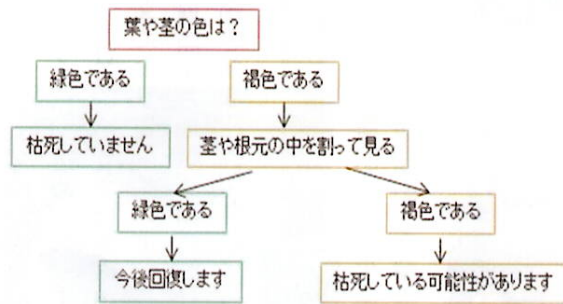


図2 冬枯れ判断のフローチャート (H26 雪印種苗)

春先に行う「早めの」草地管理によって一番草の品質や収量が左右されます。良質な粗飼料を確保し、腹いっぱい牛が食い込めることができるように、春になったら「早めの」草地管理を始めましょう。

JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々の特ピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

JA北海道中央会

2月に、児童養護施設との調理実習体験「おとなの食育」を開催しました。興正こども家庭支援センターと共催し今回で5回目。

高校卒業後一人暮らしをしても規則正しい食生活を送ってほしいという趣旨で実施しています。前半は札幌消費者協会 札幌ポトフの会の吉田講師より、身体に必要な栄養素や食品選びの考え方を学び、後半は料理教室を開催。

参加児童は「調理方法など、わからないことを学べてとても良い機会だった」と感謝の気持ちをお話してくれました。



JA北海道信連

JAバンクを広く知ってもらおうと、3月の札幌ドームでのファイターズの試合にブースを出展しました。

当日は、春のキャンペーンへ応募された方によりスグッズを、JAバンクのアンケートに回答された方に試合の観戦チケットを抽選で贈呈するなど、JAバンクのPRに取り組みしました。今後も、様々なスポーツとの連携・支援などを通じて、JAバンクのファンづくりに向けて取り組んで参ります。



ホクレン

社会・地域貢献活動「シーズプロジェクト」の一環として、興正こども家庭支援センターとの共催で、児童養護施設などを巣立つ高校生たちを対象に「おとなの食育もつと牛乳を飲もう！マナー講座」をホテルオークラ札幌で開催しました。北海道の酪農、牛乳・乳製品についてや、ナイフやフォークの使い方など基本的なマナーを学びました。(この取り組みは、2014年から継続して実施しており、今年で5回目になります)



HOKUREN
Seeds
PROJECT

JA共済連北海道

数多く実施している地域貢献活動を広く知ってもらえるよう、ロゴマークを制作しました。ロゴマークに描かれた日本地図とそこから生える新芽には、全国各地の活動が地域に根付くようにという想いが込められ、手を取り合いながら歩く「貢献」の文字は地域の皆さまとJA共済が支え合う姿をイメージしています。JA共済が展開する地域貢献活動はWEBサイト「ちいきのきずな」で紹介しております。



JA北海道厚生連

組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。

ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご一読ください。



●【酪農経営科】農業クラブOB 会入会式 & 卒業式

2月28日(水)、卒業式に先立って農業クラブOB会入会式が行われ、今年度の卒業生14人が新たにOB会に入会しました。新会員を代表して中川颯君が「農業クラブでたくさんの学習の機会を得ることができた。今後は私たちが後輩に対して支援していきたい」と決意を表明しました。その後、安部政博会長よりOB会の説明と歓迎の言葉をいただきました。



卒業式の様子

翌日3月1日(木)には卒業式が挙行され、全日課程酪農経営科9期生となる卒業生も、社会への第一歩を踏み出しました。

なお、今年度の卒業式における表彰者は次の通りです。

専門高等学校等御下賜金記念優良卒業生

南澤 茜

全国農業高等学校長協会賞

上神 美幸

財団法人栗林育英学術財団研練褒賞

森田 岬

日本学校農業クラブ北海道連盟農業クラブ員表彰

守屋 美紅

●【酪農経営科】平成30年度プロジェクト学習がスタートします

酪農経営科では、2年生から授業の一環として班別の研究活動に取り組み、次の研究領域で学習活動を展開します。

- 飼料作物研究班(主に牧草など飼料作物の栽培の研究を行います)
- 資源循環研究班(主に家畜糞尿やバイオマス消化液などの利活用の研究を行います)
- 乳製品加工研究班(主に乳製品の加工や商品の開発などの研究を行います)
- 畑作園芸研究班(バイオマス資源の活用、栽培技術の確立と地域交流を研究します)

これらの研究班は地域酪農や産業の課題に取り組んでいく予定です。今後研究活動の計画を立案し具体的なテーマを決定していきます。地域の皆様からもご指導やご助言をいただく事になると思います。どうぞよろしくお願いいたします。

●【専攻科】経営面接指導

2月23日(金)2年目学生を対象に経営面接指導を実施しました。根釧農業試験場技術普及室、農業改良普及センター、学生の所属農協より講師をお招きし、今後の経営についてのアドバイスをいただきました。経営面接指導は、自家の1年間の酪農経営(組合員勘定取引や資産台帳の変化・追加など)を経営管理ソフトを用いて月毎に入力したデータと乳検データを資料として、ご指導ご助言をいただき、今後の経営に活かすことを目的に行っています。学生からは「普段は、聞くことのできない内容のため、今後の経営改善の一助としたい」などの感想があがっていました。



経営面接指導の様子

●【専攻科】修了証書授与式挙行

3月1日(木)第45回農業特別専攻科修了証書授与式が挙行されました。仕事を行いながら登校してきた、修了生5人が、在校生・教職員・来賓の皆様に見送られ2年間の課程を修了しました。修了を迎えることができたのも、地域の皆様、関係機関のご理解とご協力のおかげです。この場をお借りして深くお礼申し上げます。修了生代表芳賀亮介さんは「酪農に於いての答えは必ずしも一つではない。自分の考えをしっかりと持ち、専攻科で学んだ事を糧に進んでいきたい」と熱い気持ちを胸に答辞を述べました。



修了証書授与式の様子

●【専攻科】基礎研究発表会実施

3月15日(木)に基礎研究活動発表会を実施しました。6人の1年目学生が1年間、自家経営について乳量乳質、繁殖成績、土壌分析などを調査した結果を発表しました。学生代表の田中祥太さんは、「今回自分達で調査した結果から課題が見つかったと思いますが、それぞれ解決するために私たちは努力していきたい。またその課題を修了研究へと繋げていきたい」と学生を代表して挨拶を述べました。継続して課題解決学習に取り組み、経営者・酪農従事者としての能力を高めてほしいと思います。



基礎研究発表の様子

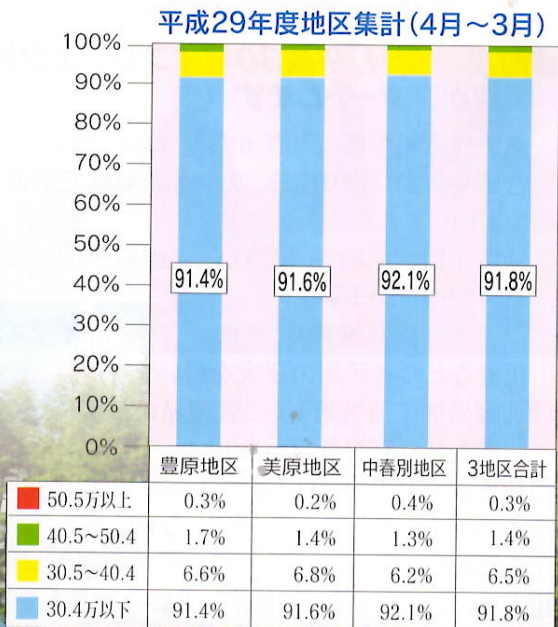
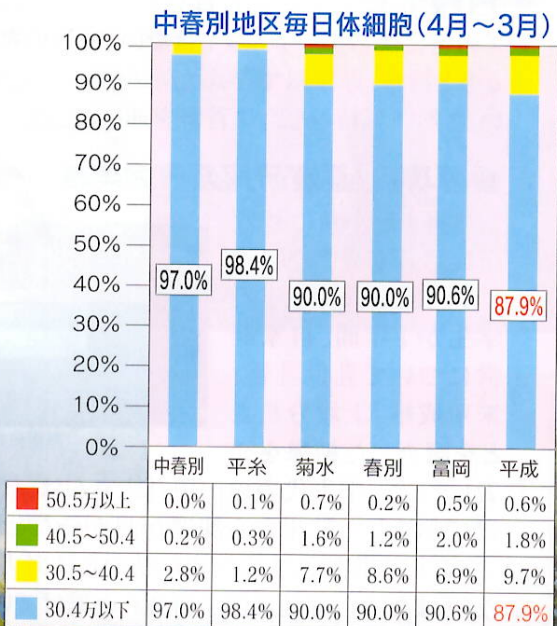
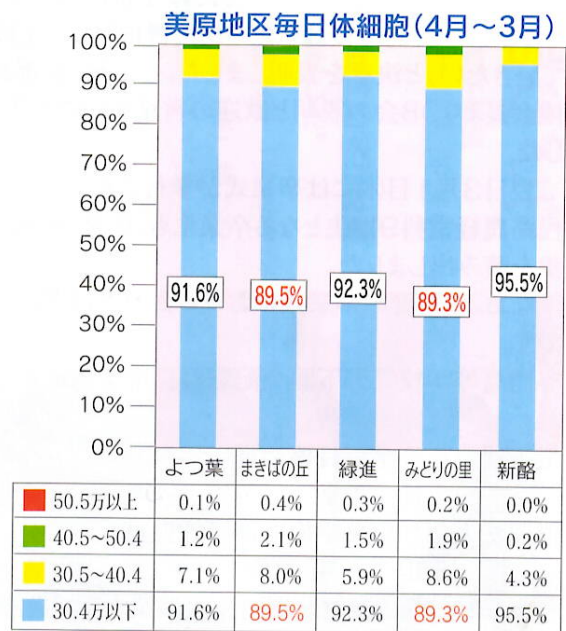
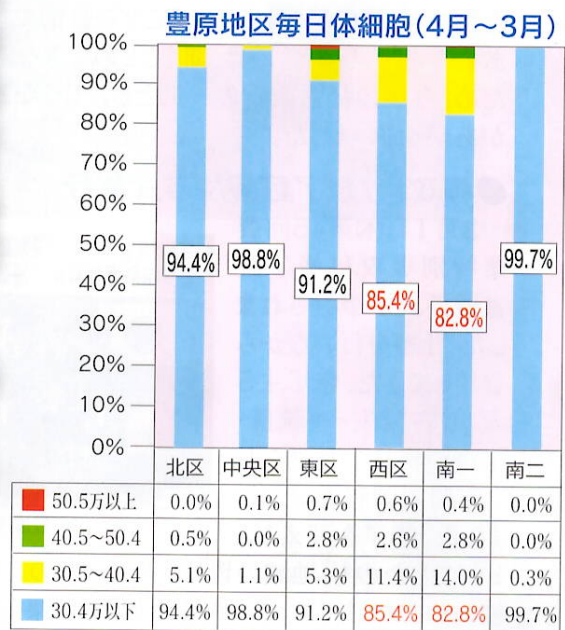


生乳汚染事故を無くそう！

- **抗生物質混入事故**……………JA中春別発生件数 **2**件 管内合計では**9**件です。
- 生菌による汚染事故……………JA中春別発生件数 0件 管内合計では0件です。
- 異物混入、加水、**血乳**による汚染事故…… JA中春別発生件数 0件 管内合計では**2**件です。
- 異臭、**異常風味**による汚染事故…………… JA中春別発生件数 0件 管内合計では**2**件です。

“畜舎周りの環境整備”
整理整頓された生乳処理室や畜舎周りの環境を整えて景観からも良質で安心な生乳出荷に努めよう！

良質生乳生産推進委員からの標語



INFORMATION

農村地域牛乳・乳製品需要 拡大運動お礼と結果報告

実績2,355,499円

今年も農村地域牛乳・乳製品需要拡大運動の取りまとめを行いました。

今年度は青年部・女性部のお中元、お歳暮、第一・第二次ギフトセット。中春別酪農対策協議会目標金額2,240,000円を上回り2,355,499円という結果になりました。多くのご注文ありがとうございました。

来年度以降も消費拡大を目指し、皆さんにお喜びいただけるよう取り組んでいきたいと思ひます。



5月31日は 自動車税の納期限です。

自動車税は、毎年4月1日現在で運輸支局に登録されている自動車の名義人（所有者）にかかる税金です。

また、インターネット上の「Yahoo! 公金支払い」サイトから自動車税のクレジットカード納税が利用できます。5月31日までに必ず収めましょう。

（問い合わせ先）納税に関するご相談は、

根室振興局 税務課納税係まで

(0153) 24-5466 (直通)

4月27日(金)よりミルク王国の営業を開始します。別海町の牛乳をふんだんに使ったソフトクリーム(もちろん地元の牛乳も使用しています)。「甘すぎず、さっぱりした味」と子供からお年寄りまで毎年好評をいただいています。

メニューはソフトクリームを始めアイスクリーム、シェイクなど豊富に取り揃え、バナナ味、マスカルポーネ味のソフトクリーム数種類を週替わりで販売いたしますのでご賞味ください。

オープン4日間

特別価格(4/27~4/30)

ソフトクリーム
200円で
ご提供!

営業期間 4月27日(金)~10月上旬
営業時間 午前10時~午後5時まで

※毎週木曜日は機械洗浄のため、通常営業時間より1時間早く閉店となります。また、悪天候も閉店とさせていただきます。場合もごさいますのでご了承願ひます。

4月27日(金)
ミルク王国オープン

地元の安心・安全な
良質生乳をたっぷり!

コクと風味が違う!!



豆知識

間違えやすい漢字の読み方。
日常で使う物をまとめてみました。

記憶の中で間違っていて覚えている字はありませんでしたか？

乳離れ

- ×ちちばなれ
- ちばなれ

貼付

- ×はりつけ
- ちょうふ

続柄

- ×ぞくがら
- つづきがら

相殺

- ×そうさつ
- そうさい

重複

- ×じゅうふく
- ちょうふく

間髪

- ×かんぱつ
- かんはつ

代替

- ×だいがえ
- だいたい

一段落

- ×ひとだんらく
- いちだんらく

ご利益

- ×ごりえき
- ごりやく

依存心

- ×いぞんしん
- いそんしん

御用達

- ×ごようたつ
- ごようたし

出生率

- ×しゅっせいりつ
- しゅっしょうりつ

他人事

- ×たにんごと
- ひとごと

記す

- ×きす
- しるす

漸く

- ×しばらく
- ようやく

2月 乳質乳価一覧表

(単位:円/)

2月分乳代支払単価

			単 価	算 出 基 礎	支 払 額	前 年 期	差	項 目	単価(円)/(kg)%	
乳 脂 肪 分			912.757		36.92	36.48	0.44	乳 脂 肪 分 ①	36円92銭	
無 脂 乳 固 形 分			577.878		51.06	50.48	0.58	無 脂 乳 固 形 分 ②	51円06銭	
補給金(脱バ・チーズ・生クリーム)			8.2863		8.29	6.25	2.04	補給金③チーズ奨励金④	8円29銭	
乳 質 単 価	生 菌 数	ランク1	2	288,536,148.2kg	3.74	3.74	0.00	脂 肪 率	全道	4.04%
		ランク2	0	7,098,047.1kg				農 協	4.12%	
		ランク3	-3	64,261.5kg				無 脂 固 形 分 率	全道	8.84%
	体細胞数	ランク1	2	258,368,230.1kg				農 協	8.78%	
		ランク2	1	19,763,195.7kg				成 分 乳 価	全道	96円27銭
		ランク3	-2	3,888,964.2kg				①+②+③+④=⑤	農 協	96円67銭
合 計					100.01	96.95	3.06	乳 質 乳 価 ⑥	全道 3円74銭 農 協 3円75銭	
								乳 代 合 計	全道 100円01銭 農 協 100円42銭	
								⑤+⑥	差異 0円41銭	

議 案

1. 平成30年度役員との取引基準について
2. 平成30年度貸付金利率の最高限度率について
3. 平成30年度信用供与等限度額設定について
4. (有)別海町酪農研修牧場への資金貸付について
5. 平成30年度飼料奨励実施要領(案)の制定について
6. リース契約について
7. 全国酪農業協同組合連合会との農作業機器賃貸借契約の締結について
8. 準職員退職給与規程の改正について
9. 平成30年度営農年度財産造成に伴う資金の借入・貸付について
10. 家畜ふん尿貯留施設整備事業実施要領(案)について
11. 糞尿利活用草地整備改良事業実施要綱(案)について
12. 平成30年度草地畜産基盤整備事業(草地整備型)道営草地整備事業に係る事業計画について
13. 平成30年度草地生産性向上対策事業に係る事業計画について
14. 平成30年度草地難防除雑草駆除対策事業に係る事業計画について
15. 平成30年度畜産担い手総合整備事業(再編整備事業[豊原美原地区])に係る事業計画について
16. 平成30年度北海道農業公社リフレッシュ事業に係る事業計画について
17. 平成30年度自給飼料生産性向上対策事業の実施について
18. 平成30年度新規就農者受入体制整備に係る乳牛導入支援事業について
19. 平成30年度給与表について
20. 平成29年度期末賞与の支給について
21. 平成30年度職員給与の定期昇給について

報告事項

1. 平成29年度12月末定期監査報告書について
2. (一社)北海道農協経営審査協会による内部審査報告書について
3. 平成30年度共済担保貸付利率及び貸付要領の改定について
4. 平成30年度理事報酬額の諮問に対する答申について
5. 平成29年度生産性向上整備に係る助成金の支出について
6. 平成29年度2月末営農生産関連実績について
7. 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業要望額調査について
8. 平成29年度草地畜産基盤整備事業(草地整備型)道営草地整備事業に係る自己負担金の精算について
9. 平成29年度畜産・酪農生産力強化対策事業の実績について
10. 平成29年度良質乳生産基盤強化支援事業の実績について
11. 平成29年度ホクレン乳用成牛飼養環境向上支援事業の実績について
12. 平成30年度府県乳牛動向調査の実施について
13. 平成30年度(前期)JA中春別選定種雄牛について
14. 特定疾病感染補償互助会の支払いについて

協議事項

1. 地区別組合員懇談会の意見集約について

組合員の広場



作品名「芽華」高田満江さん



作品名「大沼のつじ」高田満江さん

今月号の組合員の広場は「和紙絵香彩会」の作品を掲載いたしました。組合員の広場では習字や俳句、短歌、絵画、写真など多数の作品を募集しております。営農振興課・丸山までお気軽にご連絡ください。